

II

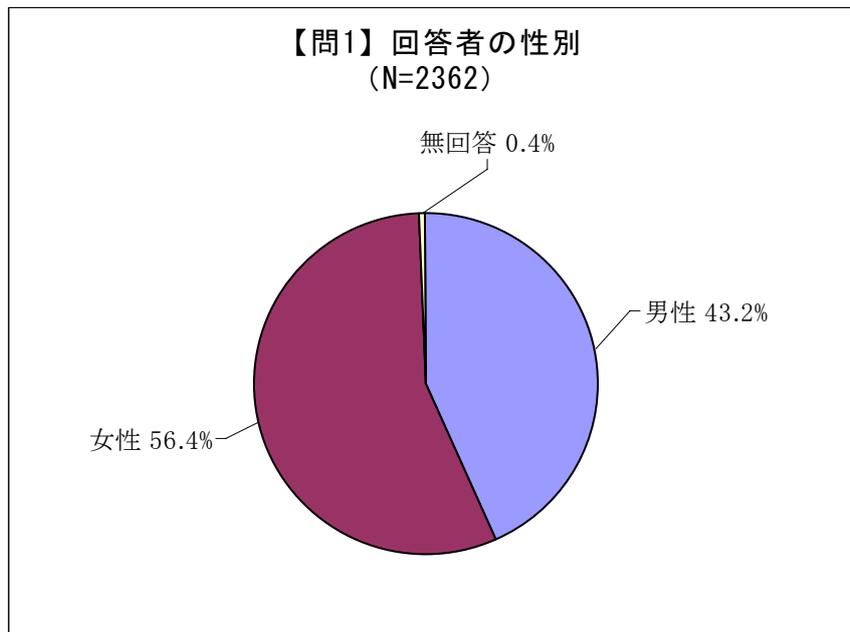
回答者の属性

II 回答者の属性

1. 回答者の属性の特徴

(1) 回答者の性別

回答者の性別は、全体では「男性」43.2%、「女性」56.4%で、女性の回答者が13ポイント以上高くなっていた。回答者の男女比は、後述する人口統計上の男女比（P.32表参照）「男性 50.6%、女性 49.4%」と比較すると男性の回答者の割合がかなり低くなっており、女性の回答者が多い結果となっていた。



(2) 回答者の年齢

回答者の年齢は、「18～24歳」5.7%、「25～29歳」6.1%、「30～34歳」9.7%、「35～39歳」11.5%、「40～44歳」10.7%、「45～49歳」8.1%、「50～54歳」7.4%、「55～59歳」8.9%、「60～64歳」8.4%、「65～69歳」7.3%、「70～74歳」6.7%、「75歳以上」9.2%であった。

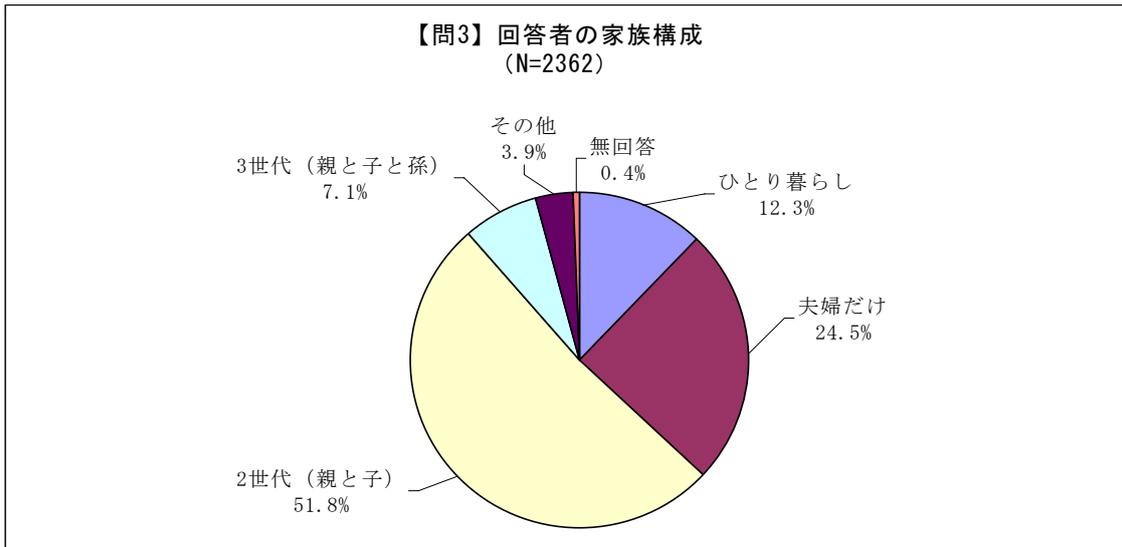
このように5歳刻みで回答を得たが、図表の表現や解説の記述にあたっては10歳刻みに計算し直して、クロス集計などを行うことにした。その集計をし直した結果は下の表の通りとなった。

「30歳未満」11.8%、「30歳代」21.2%、「40歳代」18.8%、「50歳代」16.8%、「60歳代」15.7%、「70歳以上」15.9%という結果であった。回答者数は「30歳代」が最も多く、「30歳未満」からの回答者が最も少なかった。

項目	全体		男性			女性			無回答	
	回答数	構成比	回答数	構成比	男女比	回答数	構成比	男女比	回答数	構成比
18～24歳	135	5.7	65	6.4	48.1	70	5.3	51.9		
25～29歳	144	6.1	69	6.8	47.9	75	5.6	52.1		
30歳未満	279	11.8	134	13.1	48.0	145	10.9	52.0		
30～34歳	228	9.7	80	7.8	35.1	148	11.1	64.9		
35～39歳	272	11.5	114	11.2	41.9	158	11.9	58.1		
30歳代	500	21.2	194	19.0	38.8	306	23.0	61.2		
40～44歳	253	10.7	106	10.4	41.9	147	11.0	58.1		
45～49歳	191	8.1	88	8.6	46.1	103	7.7	53.9		
40歳代	444	18.8	194	19.0	43.7	250	18.8	56.3		
50～54歳	175	7.4	75	7.3	42.9	100	7.5	57.1		
55～59歳	210	8.9	90	8.8	42.9	120	9.0	57.1		
50歳代	385	16.3	165	16.2	42.9	220	16.5	57.1		
60～64歳	198	8.4	94	9.2	47.5	104	7.8	52.5		
65～69歳	173	7.3	84	8.2	48.6	89	6.7	51.4		
60歳代	371	15.7	178	17.4	48.0	193	14.5	52.0		
70～74歳	159	6.7	76	7.4	47.8	80	6.0	50.3	3	1.9
75歳以上	217	9.2	80	7.8	36.9	137	10.3	63.1		
70歳以上	376	15.9	156	15.3	41.5	217	16.3	57.7	3	0.3
無回答	7	0.3							7	100.0
合計	2,362	100.0	1,021	100.0	43.2	1,331	100.0	56.4	10	0.4

(3) 回答者の家族構成

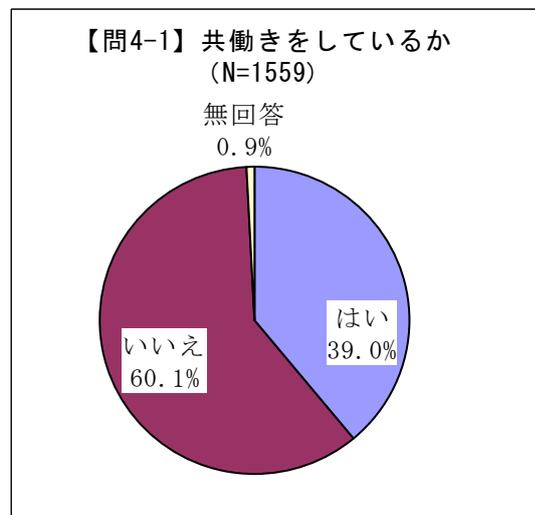
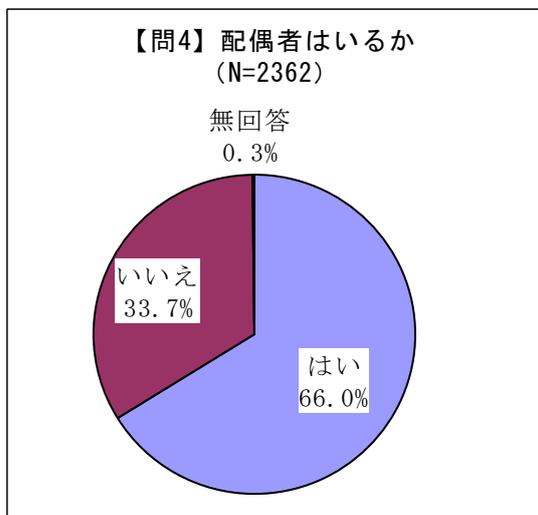
回答者の家族構成は、「2世代（親と子）」が 51.8%で回答者の半数を占め、「夫婦だけ」が 24.5%と全体の4分の1、「ひとり暮らし」が 12.3%、「3世代（親と子と孫）」が 7.1%とそれぞれ1割弱となっており、「その他」は 3.9%と最も少なくなっていた。



(4) 回答者の配偶者の有無

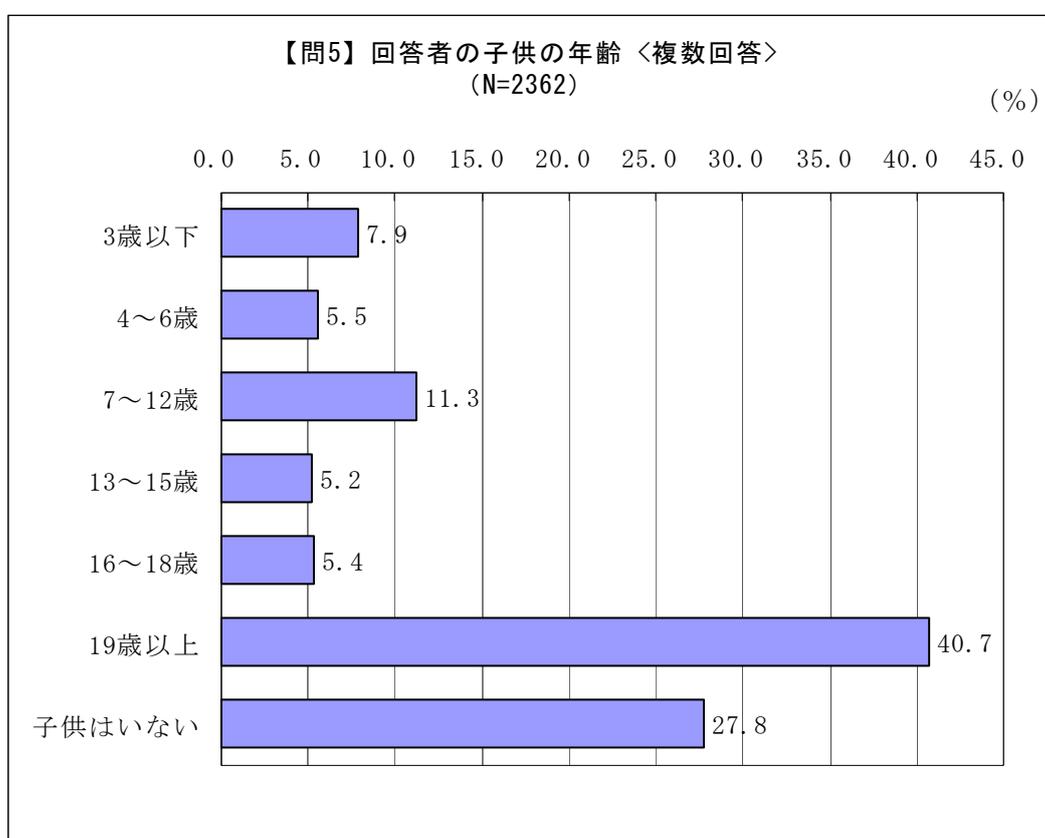
回答者の配偶者の有無では、「はい」が 66.0%、「いいえ」が 33.7%で、配偶者のある人が3分の2となっていた。

また、配偶者のいる人だけに「共働きをしているか」聞いた。「はい」が 39.0%で、「いいえ」が 60.1%であった。



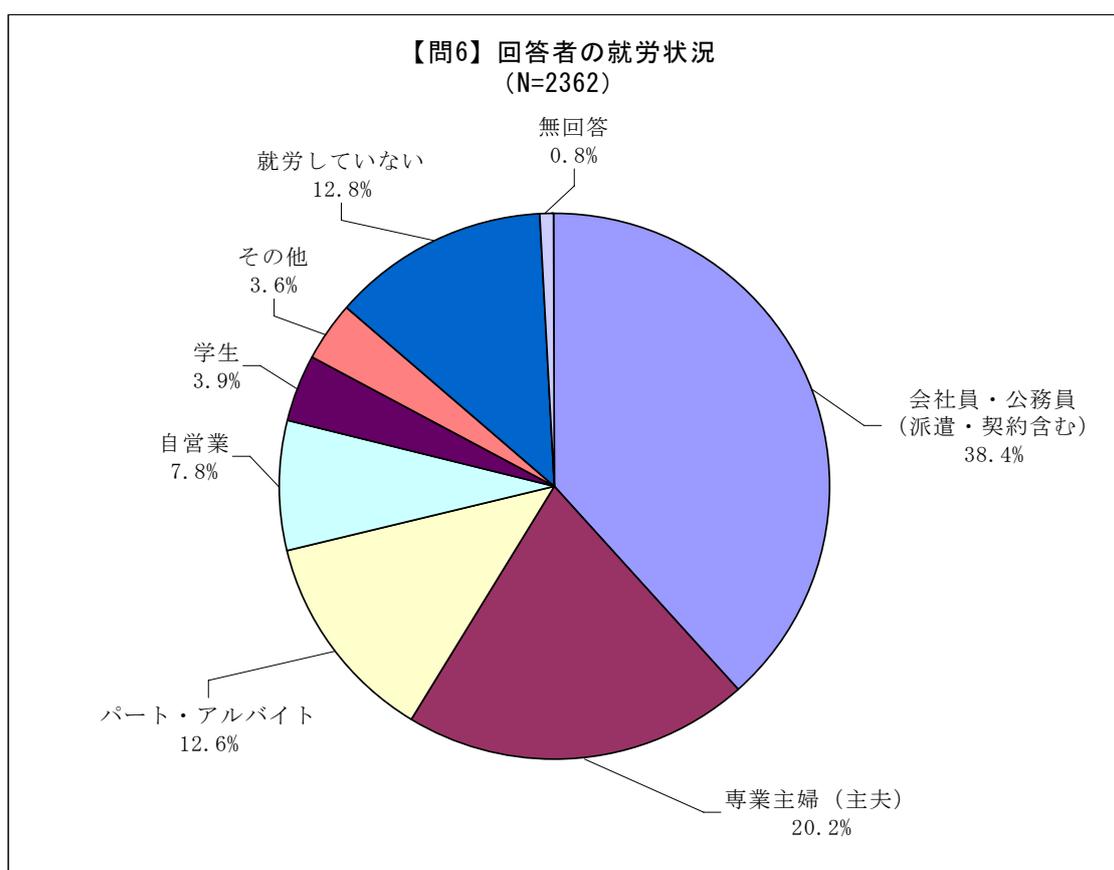
(5) 回答者の子供の年齢（複数回答）

回答者の子供の年齢は、複数子供がいる場合はそれぞれの年齢階層ごとに選択する複数回答とした。「19歳以上」が40.7%で最も多く、「子供はいない」が27.8%で続いていた。さらに、子供の年齢が「3歳以下」は7.9%、「4～6歳」が5.5%、「7～12歳」が11.3%、「13～15歳」が5.2%、「16～18歳」が5.4%となっていた。18歳以下の子供を6歳刻みに置き換えて見ると、6歳以下の乳幼児が13.4%、小学生が11.3%、中学生高校生が10.6%ということになっていた。



(6) 回答者の就労状況

回答者の就労状況を見ると、「会社員・公務員（派遣・契約を含む）」のいわゆるサラリーマン層が 38.4%と最も多く、「専業主婦（主夫）」が 20.2%、「パート・アルバイト」が 12.6%、「自営業」が 7.8%、「学生」3.9%、「その他」が 3.6%であり、「就労していない」が 12.8%であった。



(7) 回答者の居住地域

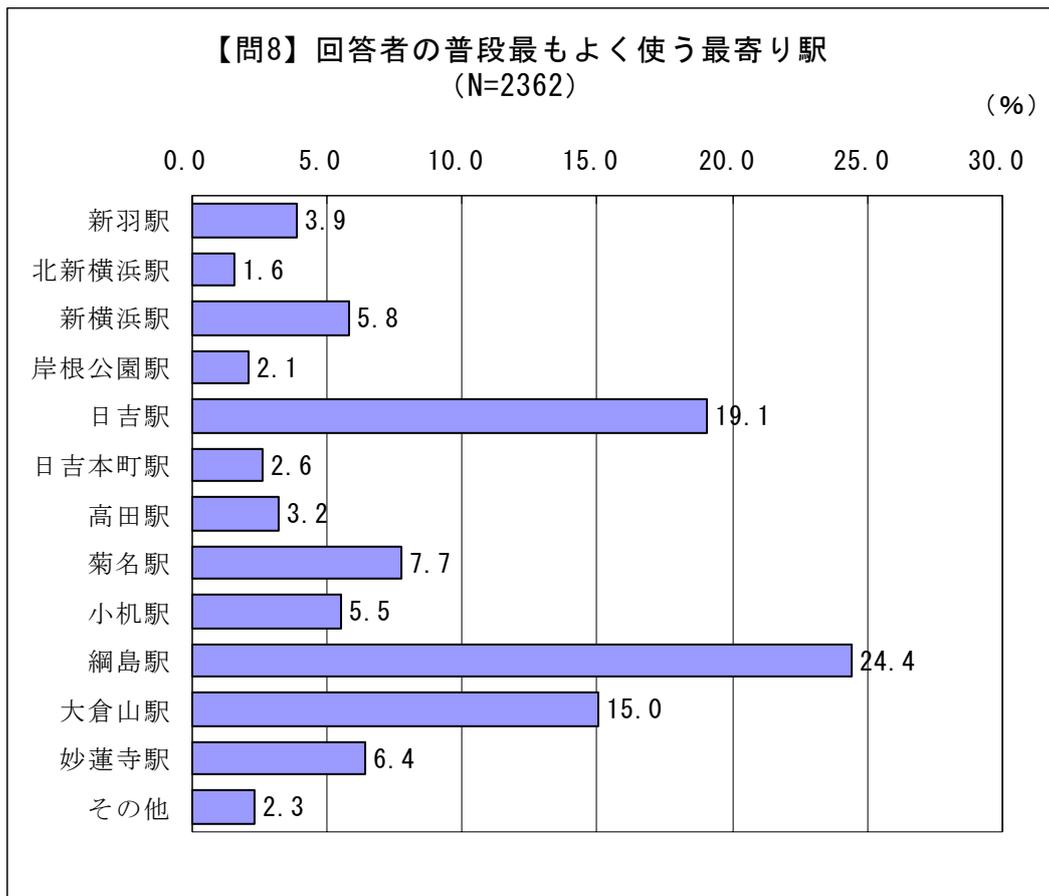
回答者の居住地域を見ると、回答者の多い順に、「下田町、日吉、日吉本町、箕輪町(以下「日吉」と略す)21.3%、「菊名、篠原北、新横浜、錦が丘、大豆戸町(以下「菊名」と略す)」13.2%、「綱島上町、綱島台、綱島東、綱島西(以下「綱島」と略す)」11.3%、「篠原台町、篠原西町、篠原東、仲手原、富士塚、篠原町(以下「篠原」と略す)」11.2%、「大倉山、太尾町(以下「太尾」と略す)」8.6%、「新吉田町、新吉田東(以下「新吉田」と略す)」7.6%「岸根町、小机町、鳥山町(以下「城郷」と略す)」7.1%、「高田町、高田東、高田西(以下「高田」と略す)」5.5%、「樽町」3.9%、「新羽町、北新横浜(以下「新羽」と略す)」3.9%、「大曽根、大曽根台(以下「大曽根」と略す)」3.6%、「師岡町」2.6%であった。

この回答者の状況を、平成20年11月30日現在の町丁・字別人口統計(住民基本台帳登録人口と外国人登録人口の合計)をもとに、上記の地域別に集計し直すと下の表の通りとなる。人口統計の地域別の構成比と回答者の地域別の構成比とはほとんど差が出ていない。したがって、地域別に回答者の状況が正確に反映されていることになる。なお、性別で見ると、全体の回答者は女性の割合が高くなっているが、地域別に男女比で見ると「大曽根」だけは男性の回答者が56%と高くなっており、「新吉田」と「綱島」では女性の回答者が6割を超えていた。

地域名 (略称)	人口統計・平成20年11月30日現在			回答者の状況			
	地域別 構成比	男女比		地域別 構成比	男女比		
		男	女		男	女	無回答
大曽根	3.3	49.6	50.4	3.6	56.0	44.0	
菊名	12.9	50.2	49.8	13.2	45.8	54.2	
篠原	10.4	49.3	50.7	11.2	42.0	57.6	0.4
城郷	7.3	51.7	48.3	7.1	41.1	58.9	
樽町	4.1	51.5	48.5	3.9	45.1	54.9	
太尾	7.3	49.5	50.5	8.6	48.0	52.0	
師岡	3.2	50.1	49.9	2.6	40.3	59.7	
新吉田	8.5	51.2	48.8	7.6	38.3	61.7	
高田	5.4	51.0	49.0	5.5	43.8	54.6	1.5
綱島	12.2	50.8	49.2	11.3	39.8	60.2	
新羽	4.0	51.8	48.2	3.9	44.0	56.0	
日吉	21.5	50.7	49.3	21.3	42.7	57.1	0.2
無回答				0.3		0.1	0.4
合計	100.0	50.6	49.4	100.0	43.2	56.4	0.4

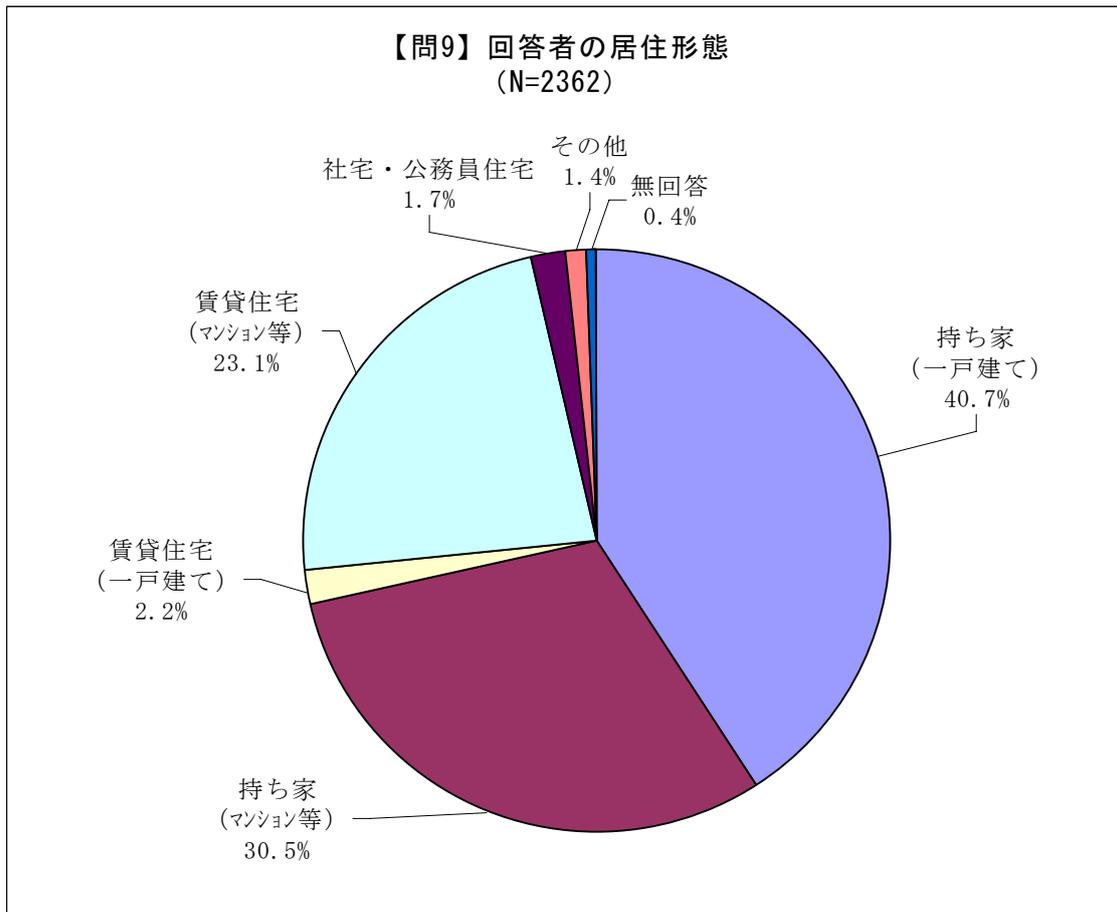
(8) 回答者の普段最もよく使う最寄りの駅

回答者の普段最もよく使う最寄りの駅は、回答者の多い順に、「網島駅」24.4%、「日吉駅」19.1%、「大倉山駅」15.0%、「菊名駅」7.7%、「妙蓮寺駅」6.4%、「新横浜駅」5.8%、「小机駅」5.5%、「新羽駅」3.9%、「高田駅」3.2%、「日吉本町駅」2.6%、「岸根公園駅」2.1%、「北新横浜駅」1.6%、「その他」2.3%であった。



(9) 回答者の居住形態

回答者の居住形態は、「持ち家（一戸建て）」が 40.7%で最も多く 4 割を占めており、「持ち家（マンション・共同住宅）」が 30.5%で、持ち家が 7 割を占めていた。「賃貸住宅（マンション・共同住宅・アパート）」が 23.1%で、「賃貸住宅(一戸建て)」が 2.2%、「社宅・公務員住宅」は 1.7%、「その他」1.4%であった。



(10) 回答者の現住所の居住年数

回答者の現住所の居住年数は、「5～10年」が21.9%で最も多く、「11～20年」が18.5%とこれに続いている。「21～30年」が13.7%、「0～2年」が13.6%、「3～4年」は11.8%、「31～40年」が10.3%、「41年以上」が9.7%となっていた。したがって、回答者は、「0～4年」までの人が25.4%であり、「0～10年」までとすると47.3%とほぼ半数を占めていた。「0～20年」では65.8%で、ほぼ3分の2となった。

